

「清流の国ぎふ」の創生 × S D G s

岐阜県

令和2年4月15日



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



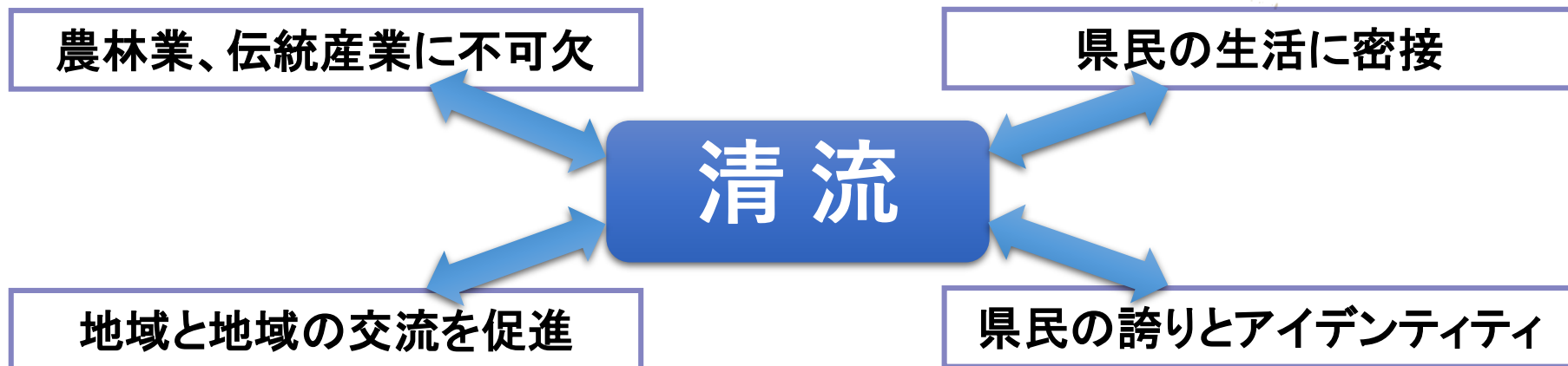
岐阜県の概要

(1) 岐阜県の特徴

- 国土の真ん中に位置
- 豊かな自然環境
- 「清流」が育む匠の技や伝統文化



(2) 「清流の国ぎふ」づくり



(3) 課題

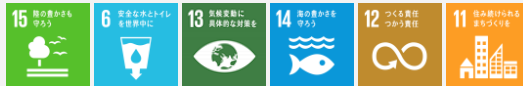
- 少子高齢化
- 人口流出
- 地球温暖化
- 激甚化する自然災害



SDGsの推進やモデル事業に取り組み、これらの課題を解決



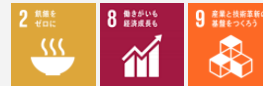
モデル事業



環境

美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用

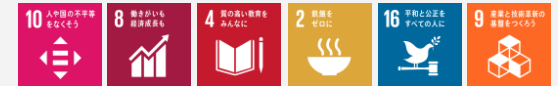
- ・ 長良川源流の保全
- ・ 地球温暖化対策の推進
- ・ 木質バイオマスエネルギー利用の促進 等



経済

世界に誇る「ぎふブランド」の創造と発信

- ・ SDGsを視野に入れた観光振興
- ・ Society5.0に対応する産業競争力の強化



社会

「清流の国ぎふ」の未来を担う人づくり

- ・ 障がいに関わらず活躍できる環境の整備
- ・ 豊富な森林資源を活用したぎふ木育の推進
- ・ ふるさと教育の展開 等

《2030年のあるべき姿》

自然と人が創り出す 世界に誇る「清流の国ぎふ」



「長良川システム」

地域資源の保全、活用、継承

環境

美しい清流と
それを育む豊かな
森の保全と活用

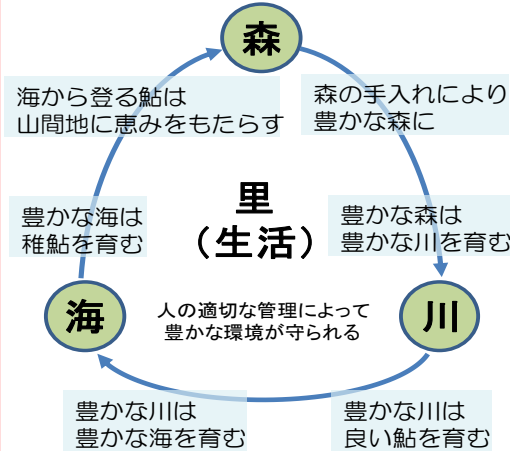


中部山岳国立公園



清流長良川の鮎

森と里と川と海の連環 (長良川システム)



経済

世界に誇る
「ぎふブランド」
の創造と発信



郡上踊り



地歌舞伎

社会

「清流の国ぎふ」の
未来を担う人づくり



モデル事業 <環境面>



美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用

モデル事業	指標
【長良川源流の保全】 ・長良川源流の森育成事業	<温室効果ガス排出量> 2016年度 1,705.1万t-CO ₂ → 2030年度 1,421.6万t-CO ₂
【地球温暖化対策の推進】 ・「岐阜県気候変動適応センター」の開設	
【プラスチックごみ対策の推進】 ・「ぎふプラごみ削減モデルショップ」登録店舗の増加 ・プラスチック資源循環推進のための普及啓発	<長良川源流の森育成事業取組み面積> 2018年 9.3ha → 2023年 累計14.3ha
【地産地消型の木質バイオマスエネルギー利用の促進】 ・木質資源ボイラー・ストーブ等の導入支援 ・県民協働による未利用材の搬出支援	<木質バイオマス利用量> 2018年度 102千m ³ → 2023年度 197千m ³



課題

- ✓ 平均気温の上昇（温暖化）
- ✓ 河川から海洋へプラごみ流出



モデル事業<経済面>



世界に誇る「ぎふブランド」の創造と発信

モデル事業

【SDGsを視野に入れた観光振興】



- ・美濃和紙のブランド力向上及び需要拡大に向けた支援
- ・中部山岳国立公園の魅力増進
- ・清流木曾川再発見プロジェクト（仮称）の推進
- ・ONSENガストロミーツーリズムの推進

【Society5.0に対応する産業競争力の強化】

- ・スマート林業の導入による木材生産の効率化
- ・航空宇宙生産技術開発センターにおける人材育成と研究開発の推進

指標

<美濃和紙ブランド認定商品数>

2018年度
累計266商品

➡

2016～2020年度
累計300商品

<中部山岳国立公園自然体験プログラム受講者>

2018年度
9,133人

➡

2020年度
10,976人

<林業産出額>

2017年度
97億円

➡

2023年
101億円

<県内航空宇宙産業の製造品出荷額>

2017年度
2,217億円

➡

2020年
4,000億円



課題

☑ 一人当たりの県民所得 中部9県で最下位



モデル事業 <社会面>



「清流の国ぎふ」の未来を担う人づくり

モデル事業

【女性の活躍推進】

・「ぎふ女(じょ)のすぐれもの」の認定と販売促進

【障がいに関わらず活躍できる環境の整備】

・「岐阜県障がい者総合就労支援センター」の開所

【豊富な森林資源を活用したぎふ木育の推進】

・「ぎふ木遊館」、「森林総合教育センター」の開館

【ふるさと教育の展開】

・「清流の国ぎふ」ふるさと魅力体験事業の推進

指標

<管理的職業従事者に占める女性の割合>

2018年度 14.5% → 2020年度 18.2%

<県内障がい者実雇用率>

2018年度 2.14% → 2020年度 2.30%

<新規林業就業者数>

2012～2017年度 累計314人 → 2019～2023年度 累計400人

<学校の特色に応じた課題解決型のふるさと教育に取り組む県立高等学校数>

2019年度 63校(100%) → 2023年 63校(100%)



課題

- ✓ 各分野で担い手不足
- ✓ 障がい者実雇用率は法定雇用率未満
- ✓ 若者の県外流出



(1)「3つのC」

Communication (価値の共有)

地域資源の価値を広く共有するため、実際の体験を通じてその価値を伝える。

Collaboration (連携・協働)

他の地域との積極的な協働・連携により、相乗効果を創出し、地域資源の魅力を発信。

Contribution (貢献)

地域資源を磨き上げ、その価値を共有するため、担い手を育成し地域に貢献。

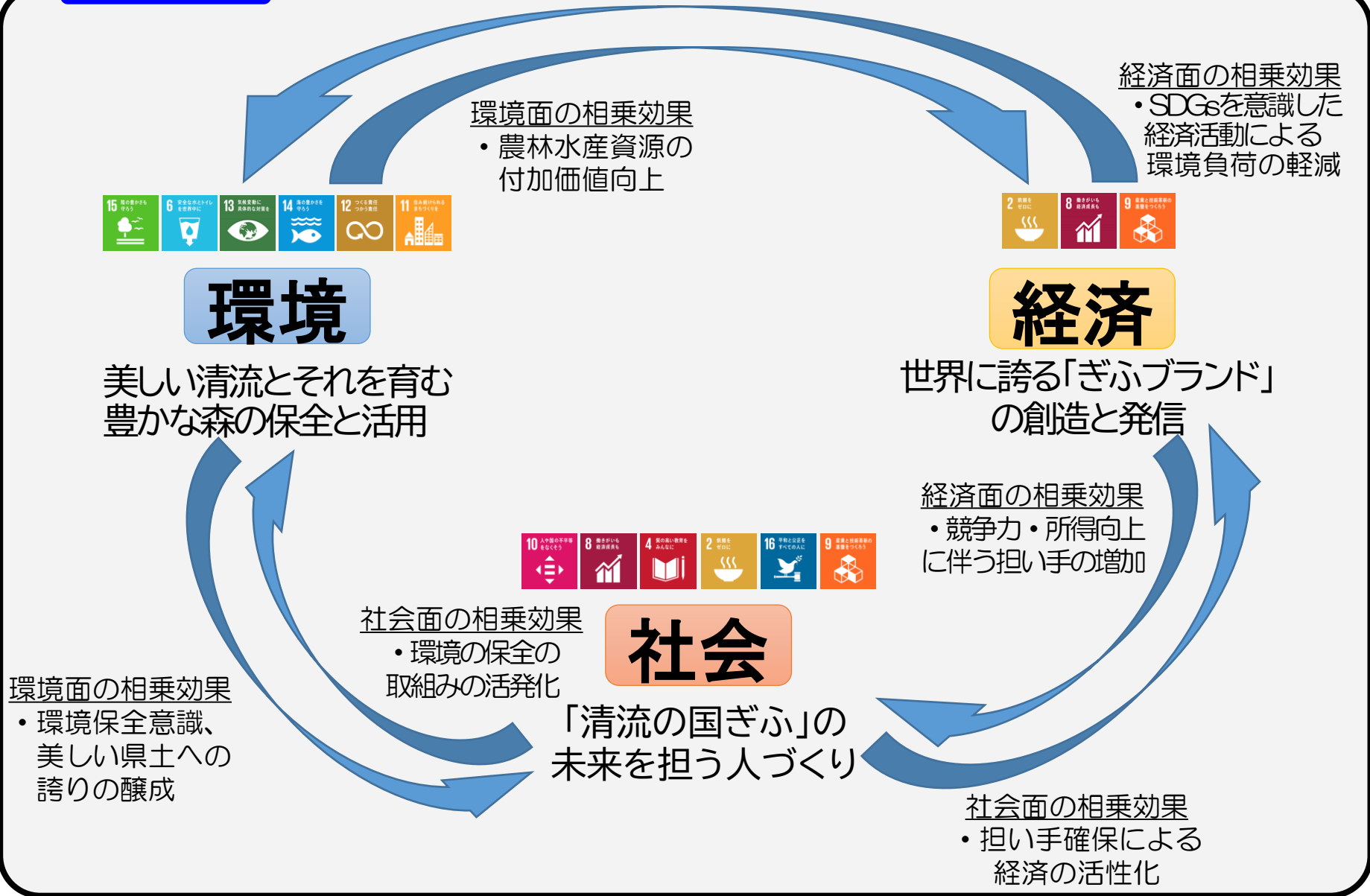
(2)「オール岐阜」でSDGsを推進

- ① 「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク新設
- ② フォーラム等を通じた企業・県民へのPR
- ③ 市町村の自律的な取組みへの財政支援
- ④ 民間の取組みの見える化（登録・認証制度）



統合的取組みによる相乗効果

モデル事業





多様なステークホルダーとの連携

○ 岐阜大学等研究機関

環境

経済

社会

・学生への啓発 ・技術的・科学的助言及び研究

○ 世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会

経済

社会

・住民、企業への啓発 ・自律的な取組みの実践

○ 世界農業遺産国内認定地域連携会議

環境

社会

・研修会の共同開催 ・共同PRの実施

○ 世界農業遺産広域連携推進会議

環境

社会

・成功事例や課題を共有 ・共同PRを実施

○ 東南アジア漁業開発センター

経済

社会

・開発途上地域からの研修生受入れ
・専門研究員の派遣

○ 東アジア農業遺産学会

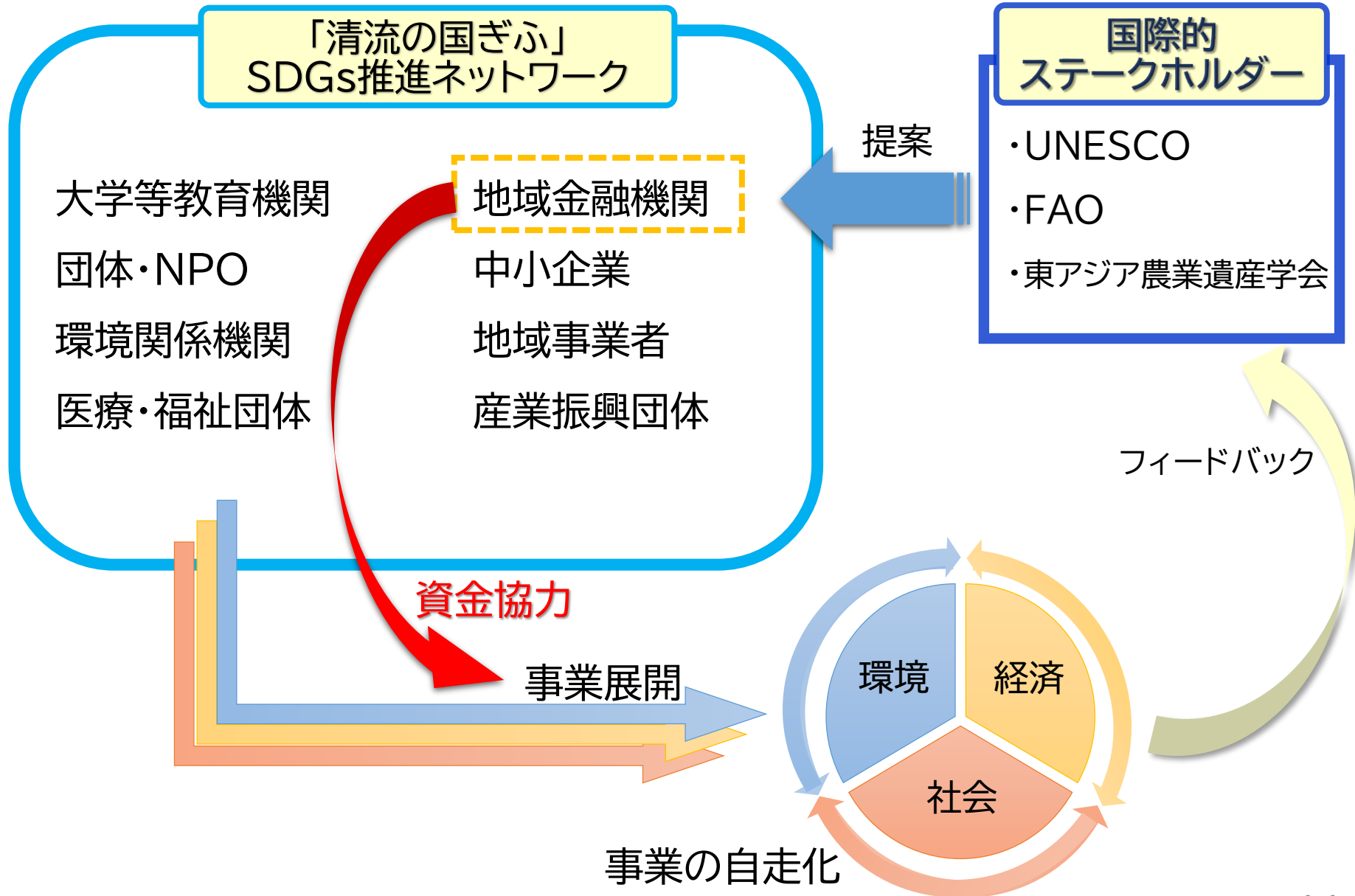
社会

・世界農業遺産の価値向上に向けた日中韓の研究交流

等



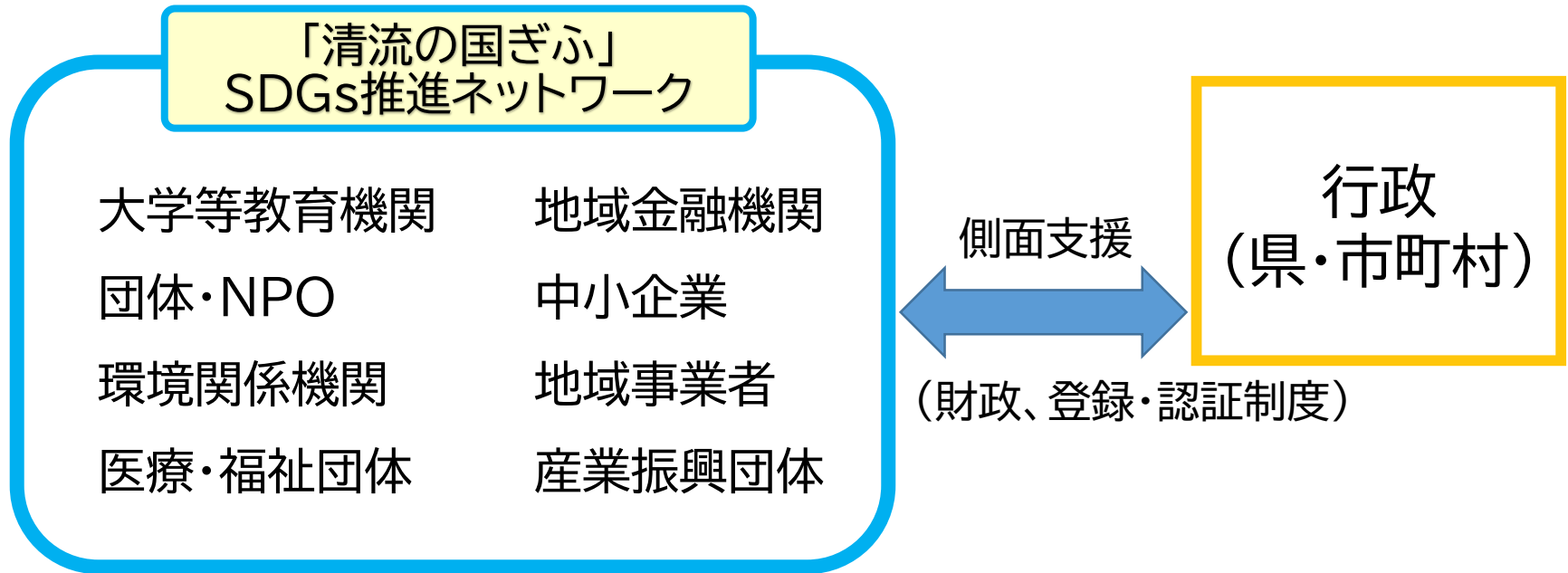
自律的好循環の具体化に向けた事業の実施





自治体SDGsモデル事業の実現可能性

(1) 実施体制



(2) スケジュール

- 【2020年度】
 - ・SDGs推進ネットワーク<新設>
 - ・セミナー・フォーラム等によるPR
 - ・専用ホームページ<新設>
 - ・市町村への財政支援
- 【2021年度】
 - ・事業者登録・認証制度<構築>
- 【2022年度】
 - ・事業者登録・認証制度<運用>

「オール岐阜」でSDGsの推進

自然と人が創り出す 世界に誇る
「清流の国ぎふ」

(金華山と長良川)